

デジタル印刷機「リソングラフ」の新機種「MFシリーズ/SFシリーズ」が登場

チラシなどの店舗販促物の大量印刷に効果を発揮!

理想科学工業の高速デジタル印刷機「リソングラフ」は、生産性と経済性、操作性を兼ね備え、店舗をはじめとした事業所、学校、官公庁などに広く導入されている。10月には、さらに進化した新モデルをリリース。手間なく2色印刷ができる「リソングラフMFシリーズ」と、業界最速^(※1)の印刷スピードの「リソングラフSF939G/939G」だ。

理想科学工業は1946年、謄写版(ガリ版)印刷業「理想社」として創業した。その後、国産初となるエマルジョンインク

「RISOインク」の開発に成功したのを機に、印刷機材のメーカーに転身を果たす。そして80年、孔版印刷の原理と独自の技術を融合させ、手を汚さず、コピー機のよう

超高速印刷で短時間で大量印刷を実現

印刷機と聞くと操作が難しいのではと思うかもしれないが、「リソングラフ」は機能が

や設定が分かりやすく、誰でも簡単に操作できる。「原稿をセットしたら、製版から印刷まで全自動。特別な印刷知識も不要ですし、手間もかかりません」と同社 営業本部 営業統括部 RPS統括課長の大場広士氏。

印刷スピードは、「リソングラフMF935W」は2色印刷が1分間に150枚^(※2)、画面印刷が毎分200ページ、「リソングラフSF939/SF939G」は、従来機よりスピードアップして毎分190枚^(※1)と、業界最速を更新した。

「リソングラフ」は、孔版印刷の技術を利用した印刷機で、原稿を読み取ってフィルムに微細な孔を開けたマスター(原版)を内部のドラムに巻き付け、この孔にインクを通して用紙に転写することで印刷する仕組みになっている(図表①)。同一原稿の印刷であれば、プリント枚数が増えるに従い、1枚当たりの印刷単価は下がる(図表②)。マスター1枚で約4000枚^(※3)印刷でき、単色印刷を例に取れば、100枚印刷で1枚当たり69銭、1000枚で同17銭、4000枚で同12銭^(※4)。チラシなど、同



(上)10月17日から発売の「リソングラフMF935W」
(右)「リソングラフSF939G」

じ原稿を大量印刷している専門店や小売店に、最適な製品であるといえる。印刷可能な用紙は、一般的なオフィス用紙、はがき、リサイクルペーパー、厚紙、カラー用紙、封筒など厚さも紙質も多彩だ。

機能を向上させた最新機種

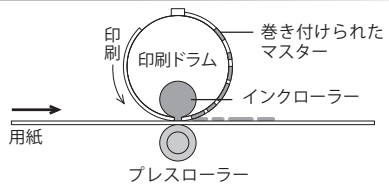
「リソングラフMFシリーズ」は、2ドラム内蔵の印刷機。異なる色のカラードラムを2本セットして、一度の紙通しで簡単に2色印刷ができる。また最上位機種MF935Wなら、2本のドラムで一度にA3両

面印刷することも可能。手間がなく便利だ。カラースキヤナーで文書や写真の細部まで高精細に読み込むことができる。そして新開発した画像処理エンジンの搭載により、写真の白とびや黒つぶれを防ぎ、小さい文字や細線まで滑らかに精細に印刷することができるようにした。

さらに「リソングラフMFシリーズ」は、読み込んだフルカラーの紙原稿を2色に色分けする機能が向上し、2色印刷の利便性が高まった。仕上がりのイメージを大型カラー液晶タッチパネル上で確認でき、再調整も簡単にできる。

もう一方の「リソングラフSFシリーズ」は内蔵ドラムが1本のタイプだ。今回登場する「リソングラフSF939/939G」は「リソングラフMFシリーズ」同様カラースキヤナーが搭載され、紙原稿を高精細に

図表① リソングラフの印刷の仕組み

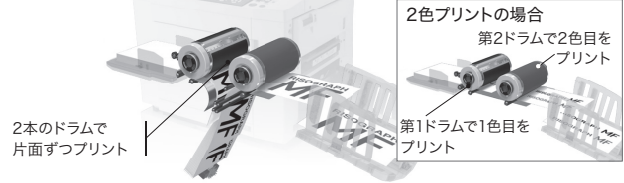


「リソングラフ」の印刷の仕組みは、フィルムに小さな孔を開けたマスター(原版)を、内部のドラムに巻き付け、回転させることで印刷する。

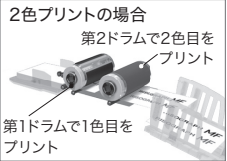
●リソングラフMFシリーズの仕組み

2つのドラムと、独自の用紙搬送機構「両面ユニット」を備えた構造により、「両面同時プリント」と「片面2色同時プリント」「単色プリント」を行う。

両面プリントの場合

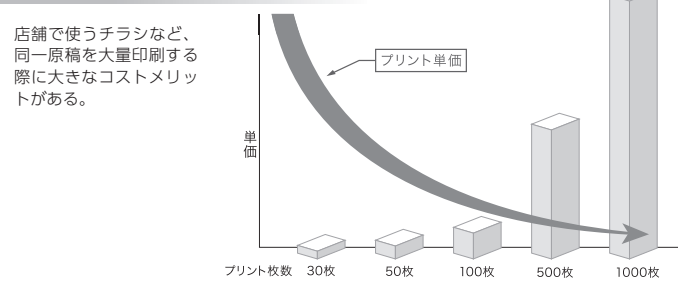


2本のドラムで片面ずつプリント



2色プリントの場合
第2ドラムで2色目をプリント
第1ドラムで1色目をプリント

図表② プリント枚数と単価の関係



店舗で使うチラシなど、同一原稿を大量印刷する際に大きなコストメリットがある。

攻めの戦略が取れる紙媒体制作に印刷機が活躍

読み込み、写真や文字を高画質に再現する。インクは、環境に配慮した国産米ぬか油を使用した「ライスインク」を採用。廃棄物である米ぬかを資源として有効利用しているだけでなく品質も向上し、2016年孔版インクとしては世界で初めて開発された。当初黒インクのみを発売していたが、味のある蛍光色を含むカラーインク全22色^(※5)にも対応した。

また自社のコーポレートカラーなど、オリジナルのカラーを作ることができる「オーダーカラー」や、黒い用紙にもきれいに映えるゴールドインクもあるので、印刷の表現の幅が増えそうだ。

「リソングラフ」は、スーパーマーケットや生協、専門店、旅行代理店や不動産、サービス業、飲食業など、幅広い業種業態の店舗で使用されている。

印刷スピードが速いので、緊急セールなどで急にチラシなどの販促物が必要になるときにすぐに印刷でき、タイムリーな情報発信と小まめな販促を行える。良い商品を安く入荷できたときや、ライバル店に対する対抗チラシなども、すぐに作ることができる。外注印刷するよりも圧倒的に速く

安く動くことができるのだ。

「オーダーカラー」や、ゴールドインクを活用し、さらに用紙の色や種類を替えることで、幅広い印象の印刷物を作ることが可能だ。例えば、売り出しのチラシやイベント案内の印刷を、自店のコーポレートカラーやイメージカラーの用紙に印刷したチラシを配り続ければ、お客に「あの店のチラシ」ということをイメージづけることができる。2色印刷なら色部分が目立つので、フルカラー印刷よりもポイントを実際立せたり、インパクトを持たせることが可能だ。「WEBでの情報発信が増えています。WEBはそのページを見に来てもらえなければ役に立ちません。その点紙媒体は、情報を届けた人に積極的に仕掛けられる、攻めの戦略が打てる。「リソングラフ」はそのお手伝いができる印刷機です」と大場氏。「これからの季節の年末商戦対策には、特典チケットや割引券などを付けたチラシも、効果を発揮します」とのことだ。

商店街では広報紙やイベント案内や商店街マップ、行案内に、飲食店ではメニュー印刷に使われている。チラシ印刷だけではなくさまざまなプリントに活躍しそうだ。同社は、全国に販売網を持ち「安心して



営業本部 営業統括部 RPS統括課長 大場広士氏



チラシなど店舗販促物の大量印刷に効果を発揮する

※1・SF939/SF939Gの表紙、ドラム内部の温度が15℃以上、2017年9月現在のオフィス用デジタル印刷機において業界最速(5社調べ)。
※2・ドラム内部の温度が15℃以上の場合。
※3・使用環境により印刷枚数は異なる場合があります。
※4・リソングラフMF939/SF939Gの場合、A4・画像面積10%、同一原稿プリント時、RISOマスタータイプHG、RISOインクタイプHG使用の場合。排版ソフト代含む。用紙別。
※5・機種により対応しない色があります。
※6・オーダーカラーはライスインクや植物油インクに対応しない場合があります。